KOIZUMI

コイズミ学習デスク
取扱説明書（保証書付き）

棚付デスク

- **ODF-250 BS**
- **ODF-295 NS**
- **ODF-296 BS**

目　次

このたびはコイズミ学習家具をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●事故防止等、安全のため、「使用上の注意」を必ずお守りいただいてご使用ください。
●お読みになった後は大切に保存していただき、取扱いのわからないときにお役立てください。

この取扱説明書のマークについて　SAFETY INFORMATION

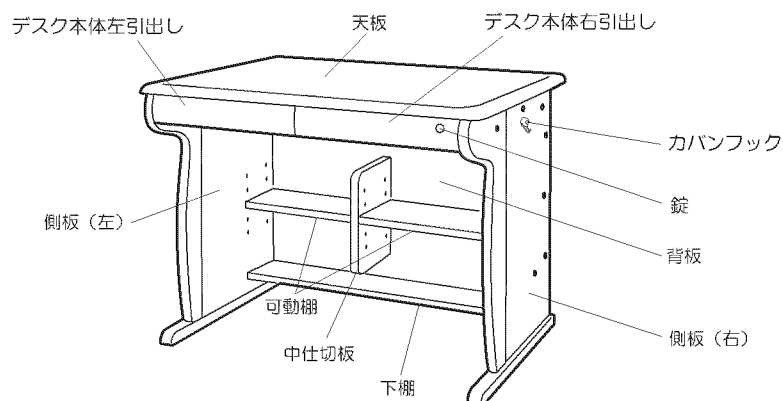
警告 WARNING　説明書中の「警告」は人身事故の原因になる危険を示します。
A WARNING IN THE MANUAL DENOTES A HAZARD THAT CAN CAUSE INJURY OR DEATH.

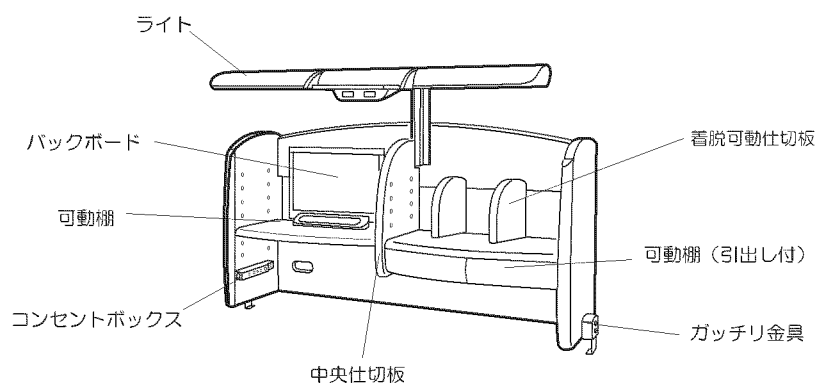
注意 CAUTION　説明書中の「注意」は障害や物的損害の原因になる危険を示します。
A CAUTION IN THE MANUAL DENOTES A HAZARD THAT CAN DAMAGE EQUIPMENT.

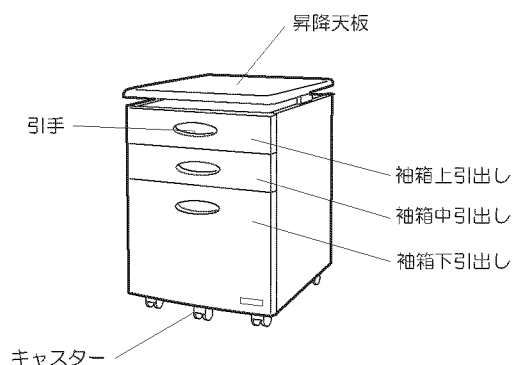
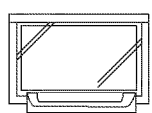
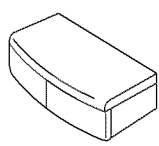
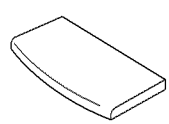
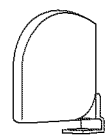
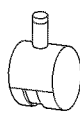
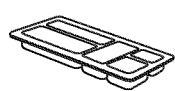
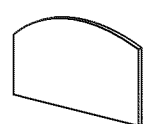
このマークのついている説明文は必ず守ってください。
KEEP THE NOTICE WITH THIS MARK.

このマークのついている説明文は特に注意してください。
BE CAREFUL THE NOTICE WITH THIS MARK.

1　各部の名称（イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。）

（1）デスク本体

※品番は本体左引出し内の品質表示ラベルにてご確認ください。

（2）上棚（ミドルタイプ）

※品番は上棚背面の品番表示ラベルにてご確認ください。

（3）袖箱

※品番は 袖箱上段引出し内の品番表示ラベルにてご確認ください。

2 付属品 （付属品がすべてそろっているかご確認ください。）

■デスク本体付属品 ※(イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。)

ボルト(M6X35mm)	ボルト用キャップ	カバンフック	フックボルト	ガッチリ金具	カギ
GKU4BU635	SZC7BC60V (SZC9BC61R)	SZC9KF07V (SZC9KF07R)	GKU4BW625	WINTGK41G	LTFTKD503
× 17	× 10	×1	×1	× 2 個 1 set	×1set

穴埋めキャップ	ナット用キャップ	樹脂棚ダボ	コンセントボックス	ボルト(M6X35mm)	
SZC9AC18V (SZC9AC18R)	SZC9DC07V (SZC7DC06R)	SZCTTD09G	KRE9SW10L	GKU4BU635	
×3	×4	×8	×1	×1	

■上棚付属品 ※(イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。)

バックボード	可動棚（引出付）	可動棚	可動仕切板	
ボード：YDG9BP041 ベース：DRK6BPWT8				
×1set	×1	×1	×2	

■袖箱付属品 ※(イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。)

キャスター(5個入)	ペントレー	仕切板(下引出し用)			
SZC9WC94G	RINTPE50G				
ｽﾄｯﾊﾟｰ付 2 個 ｽﾄｯﾊﾟｰ無 3 個	×1	×2			

(注)
※キャスター1セットは、ストッパー付が2個ストッパー無しが3個となります。
※（ ）書きの部品品番は、商品の色がBS色の場合となります。

3　組立方法

（イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。）

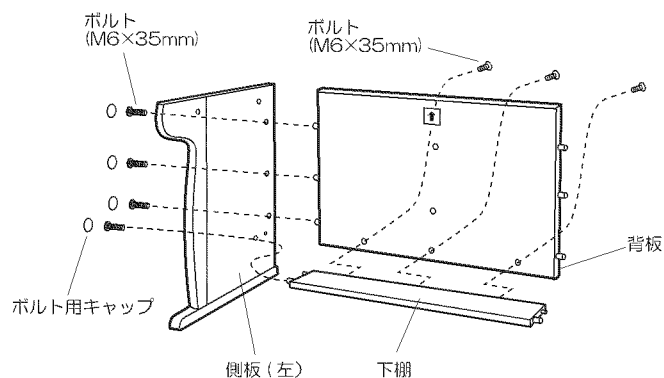
■デスク本体の組立方法

（組立は２人でおこなってください。）

（1）背板と側板、下棚の取付け

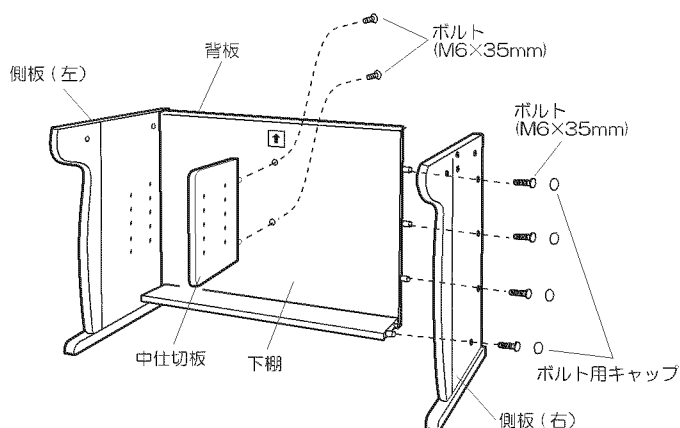
①右の図を参照して 側板（左）に背板をボルト(M6×35mm･3 本)を用いて固定してください。
※このとき背板の上下に注意してください。

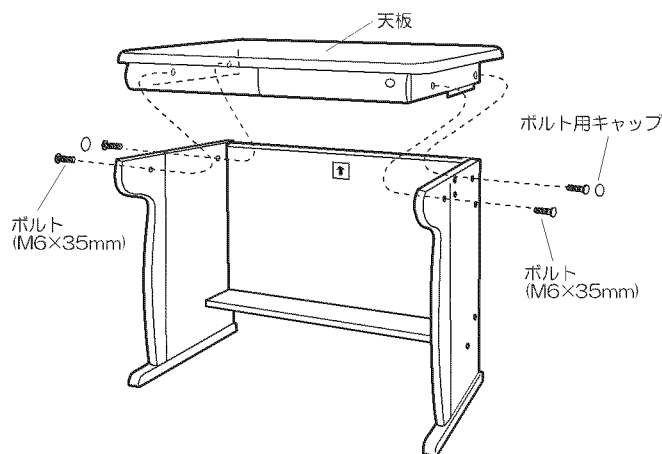
② 下棚を側板（左）にボルト(M6×35mm・1本)を用いて固定してください。

③背板裏側より下棚にボルト(M6×35mm・3本)を用いて固定してください。

④組み立てた背板と下棚に対し、側板（右）を右図のようにボルト(M6×35mm・4本)で固定してください。

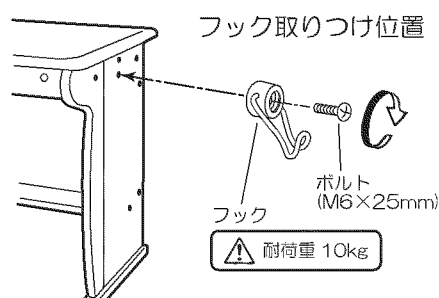
⑤背板に中仕切板をボルト(M6×35mm・2本)で固定してください。

⑥ 組み上がりましたら、すべてのボルトをしっかりと締めつけてください

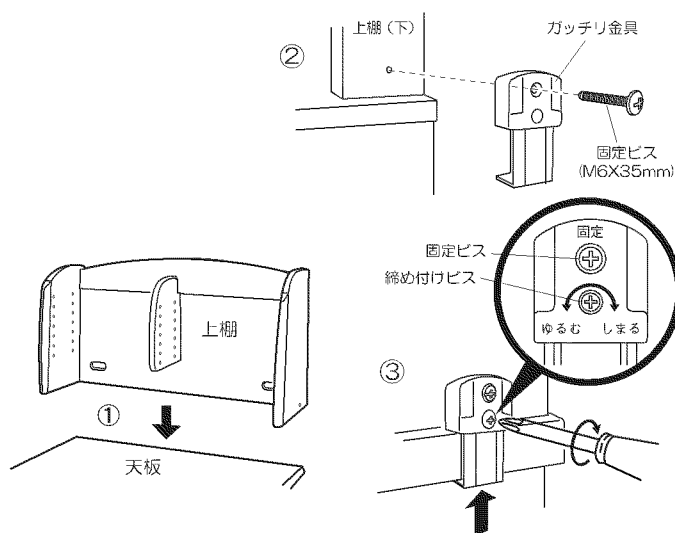
⑦ 側板後方のボルトの頭にボルト用キャップ８個を取りつけてください。

（2）天板の取付け

①右の図を参照して左右の側板と天板をボルト(M6×35mm・4本)を用いて固定してください。
②組み上がりましたら、すべてのボルトをしっかりと締めつけてください。
③後方の頭にボルト用キャップ2個を取りつけてください。

（4）カバンフックの取付け

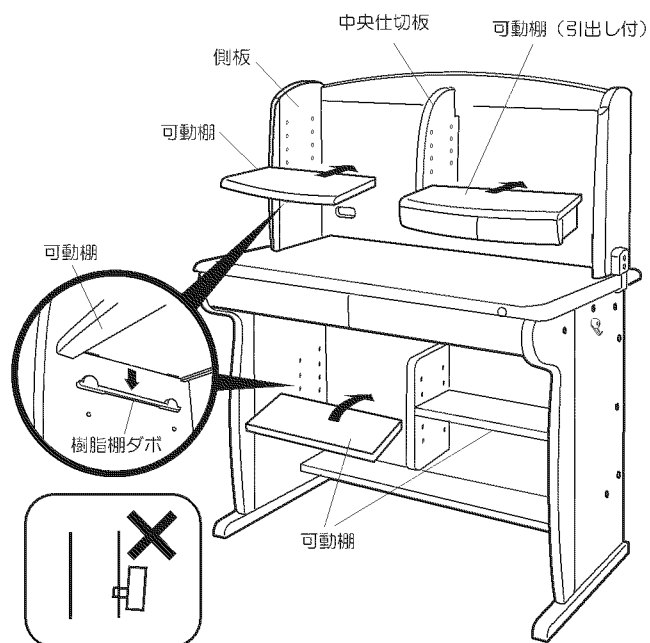
①右の図を参照 してデスク本体 の側板の左右のいずれかにカバンフックを取りつけてください。

⊘フックには10Kgをこえる物を掛けないでください
また衝撃を加えたりしないでください。
➡けが・破損の原因になることがあります。

3　組立方法　上棚　（イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。）

（5）上棚の取付け　（ガッチリ金具の取付け）

①上棚裏面を天板背面に合わせて上棚を置きます。
②ガッチリ金具の固定ビスを上棚のネジ位置に合わせて締め付けます。
③ガッチリ金具の締付けビスをしまる方向に締付けると爪が上棚と天板を固定します。締め付けの際は金具を手でしっかりと持って締め付けてください。
⦸固定ビスがゆるんでいないか時々点検し、ゆるみはじめたら、しっかり絞め直してください。
➡ゆるんだまま使用すると、上棚が倒れて、けがをする原因になります。

（6）可動棚の取付け

① 右の図を参照し、樹脂棚ダボを取り付け、可動棚を取り付けてください。
※引出し付の可動棚の取り付けも同様です。樹脂棚ダボを確実にはめ込んで可動棚を取り付けてください。
※左右の組替えも自由に行えます。使いやすい位置で使用してください。

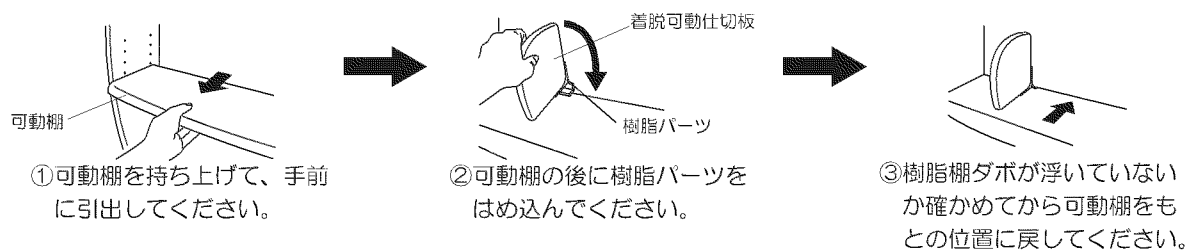
⦸上棚(下)側板と中央仕切板の穴に樹脂棚ダボを確実に取付けて、可動棚 を水平を保つように、可動棚の下の溝に確実にはめ込んでください。
➡ 樹脂ダボがきっちりとはめ込まれていなかったり、可動棚が水平になっていない場合は、可動棚がはずれてものが落ちたり小引出しを引き出したとき倒れたりして、けが・破損の原因になることがあります。

（7）着脱可動仕切板の取付け

①可動棚への取付け方法

※着脱可動仕切板を取付ける際は、可動棚の上に物が乗っていないことを確認してください。

①可動棚を持ち上げて、手前に引出してください。

②可動棚の後に樹脂パーツをはめ込んでください。

③樹脂棚ダボが浮いていないか確かめてから可動棚をもとの位置に戻してください。

4 使用方法 （イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。）

■ 袖箱の使用方法

（1）キャスター取付け・使用方法

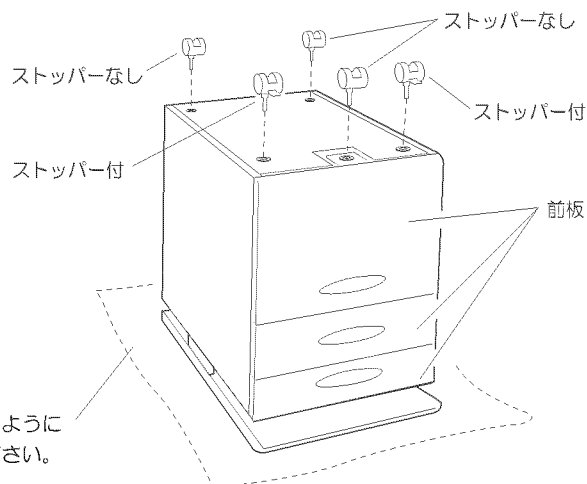
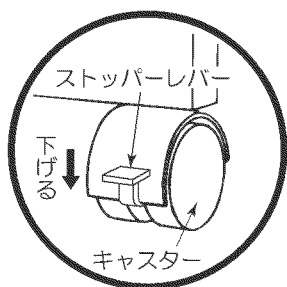
①地板の裏にキャスター4個をしっかり差し込んでください。

②下段引出しの下のキャスター取付穴にキャスター（ストッパーなし）1個をしっかり差し込んでください。

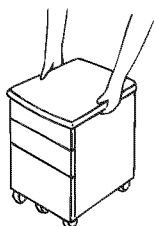
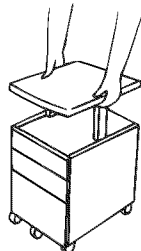
ワゴン付属部品		
キャスター（5個入）	ペントレー	仕切板（下引出し用）
SZC9WC94G	RINTPE50G	
×1セット	×1	×2

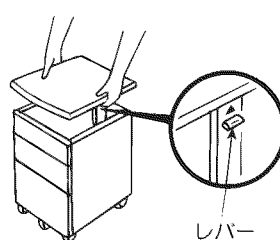
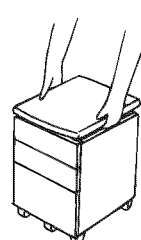
※キャスター1セットは、ストッパー付が2個、ストッパー無しが3個となります。

●袖箱はキャスターにより、自由に移動できます。
●移動を止めたい時は、袖箱の前方両端のキャスターのストッパーレバーを押し下げてください。

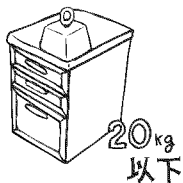
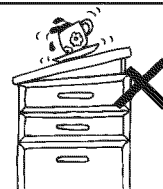
床にキズがつかないように毛布等を敷いてください。

（2）袖箱昇降天板　上下操作方法

●天板を上げるとき

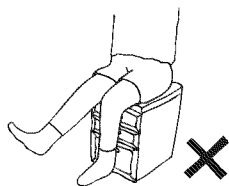
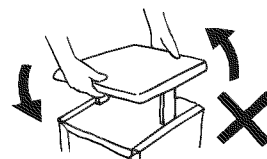
①両手で天板の左右を持つ。

②ゆっくりと持ち上げる。（12段階調節できます。）

●天板を下げるとき

①両手で天板の左右のレバーを上に引き上げる。

②レバーを引き上げたままゆっくりとおろす。

⚠ 警　告

●天板には20kgを超えるものをのせないでください。
　けが・破損の原因になります。

（天板中央部垂直耐荷重：100kg）

●昇降天板は水平を保つようにして固定してください。
➡傾いたまま使っていると、天板の上のものが落ちたりして、けが・破損の原因になります。

●天板や引出しの上に乗らないでください。
➡けが・破損の原因になります。

●激しく動かしたり、押して遊んだりしないでください。
➡倒れてけがをしたり、他のものをこわしたりする原因になります。

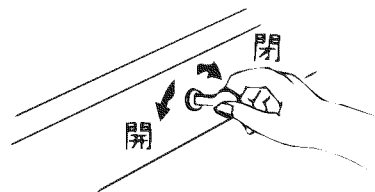
●昇降天板の可動操作は、両手でゆっくり確実に行なってください。
➡無理な力を加えたり、固定が不完全ですと、けが・破損の原因になります。

●水平をたもつように置いてください。
➡ガタツキのまま使っていると、引出しの出し入れがスムーズでなかったり、けが・破損の原因になります。

●昇降天板面にものをのせた状態で、天板可動操作はしないでください。
➡けが・破損の原因になります。

4　使用方法

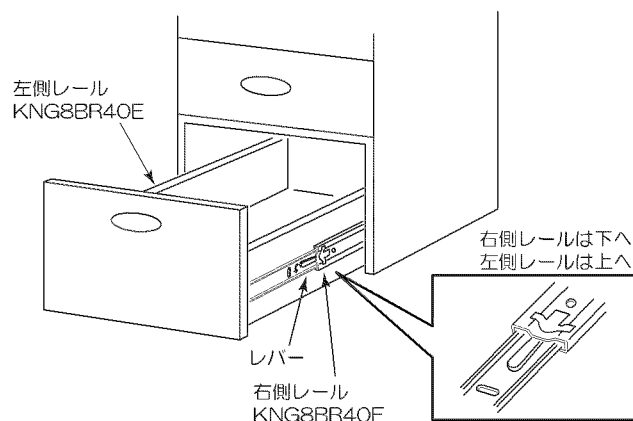
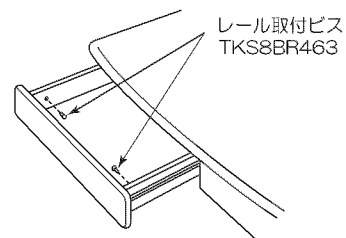
■使用方法

(1) カギの使用方法

●カギを差し込んで、右へ180°まわすと閉まります。
●カギを差し込んで、左へ180°まわすと開きます。
※カギは全機種共通の為、盗難防止の保障はいたしかねます。
　⚠カギは最後まで差し込んでから操作してください。
　　また、まわし過ぎないようにしてください。
　　➡カギや錠前の破損の原因になります。

閉
開

(2) 引出しの使用方法

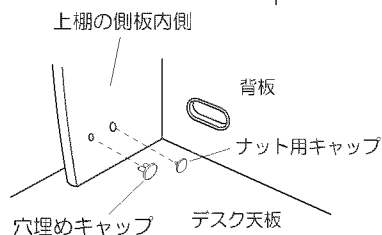
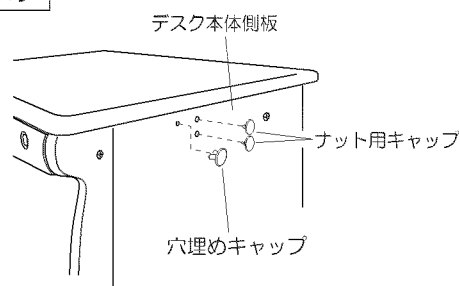
<引出しのはずし方>
①金属レール（デスク本体、袖箱上・中引出し）
　●引出しは、内面のレール取付ビス(左・右)２本をはずすと抜き取れます。
② 袖箱下引出し3段引きフルオープン
　●レバーを下へ(左側は上へ)押しながら引出しを抜くとはずれます。

<引出し内の耐荷重>
デスク本体引出し…6kg
上棚小引出し　……1kg
袖箱上引出し　……5kg
袖箱中引出し　……5kg
袖箱下引出し　……20kg

(3) 棚板の耐荷重

可動棚……12kg

(4) ナット用キャップの取付け・穴埋めキャップの取付け

（ナット用キャップの取付け）
● コンセントボックス、カバンフックを取付けたあと残るネジ穴に、ナット用キャップをはめ込んでください。

（穴埋めキャップの取付け）
● コンセントボックスを取付けたあと残る穴に、穴埋め用キャップをはめ込んでください。

4 使用方法

■コンセントボックスの使用方法

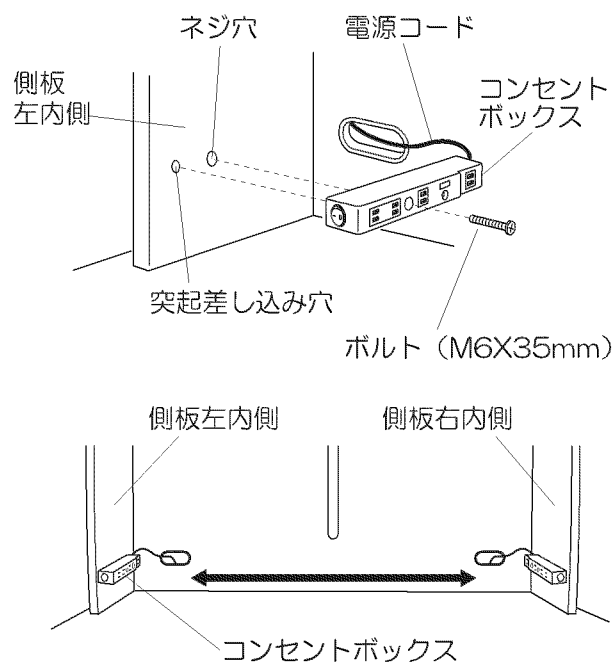
(1) 上棚への取付け方法

①上棚の側板の右内側、または左内側にあるコンセント取り付け用の穴に、コンセント裏面にある突起部を差し込んでください。

②コンセント中央にあるネジ穴に、ボルト（M6X35mm・1本）を差し込み、⊕ドライバーを用いてしっかり固定してください。
⊘確実にコンセントを取り付けてください。
➡落下により、けが・破損の原因になります。

③電源コードは上棚の背板のコード通し穴を通して、室内の壁コンセントに接続してください。

※コンセントを上棚に取り付ける場合、お好みに応じて上棚の正面の向かって左、または右に取り付けることができます。

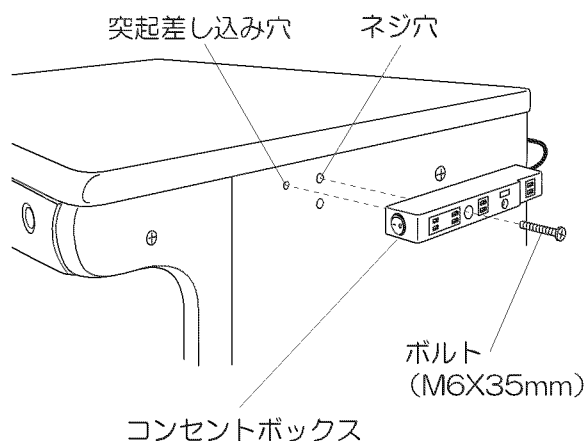
※電源コードの差し込みプラグは、必ず壁コンセントから抜いた状態で、取り付け、付けかえを行なってください。

(2) デスク本体への取付け方法

①本体の側板の右外側、または左外側にあるコンセント取り付け用の穴に、コンセント裏面にある突起部を差し込んでください。

②コンセント中央にあるネジ穴に、ボルト（M6X35mm・1本）を差し込み、⊕ドライバーを用いてしっかり固定してください。
⊘確実にコンセントを取り付けてください。
➡落下により、けが・破損の原因になります。

③電源コードは上棚の背板のコード通し穴を通して、室内の壁コンセントに接続してください。

※コンセントを本体の側板に取り付ける場合、お好みに応じて本体の左側板、または右側板に取り付けることができます。

※電源コードの差し込みプラグは、必ず壁コンセントから抜いた状態で、取り付け、付けかえを行なってください。

4 使用方法

(3) 机のコンセントは4口で、合計1300ワット(W)までの家電製品が使用できます。

⊘ご使用時に使用する家電製品の定格消費電力のワット(W)数の合計が1300ワット(W)以下となることを確かめてからご使用ください。エアコンや掃除機等のように定格消費電力以外のワット(W)数表示のある家電製品がありますのでご注意ください。

➡合計が1300ワット(W)を超えた状態でご使用になりますと、ブレーカーがはたらきコンセントが使用できなくなります。

⊘ライト専用コンセントは、付属のライト以外には絶対に使用しないでください。

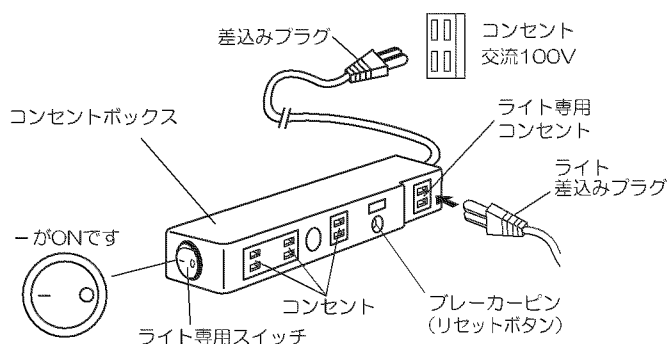
➡付属のライト以外の家電製品を使用されますと火災･発煙･過熱の原因になります。

※机のコンセントで使用できない場合は室内の壁コンセントで家電製品をご使用ください。

⊘コンセントへの差し込みプラグの抜き差しの際は、片手でコンセント側、もう一方の手でプラグを持ち、ゆっくりと確実に行なってください。
➡コードが早くいたんだり、火災･感電･破損の原因になります。
⊘このコンセントは固定した状態で使用する様に設計されています。ボルトを外した状態での使用や延長コードとしてのご使用はおやめください。
➡コードが早くいたんだり、火災･感電･破損の原因になります。
⊘その他のネジ類をはずしたり、分解･修理･改造は絶対しないでください。
➡火災･感電の原因になります。
⊘プラグは完全に根元まで差し込んでください。
➡不完全ですと、火災・感電の原因になります。

(4) ブレーカーがはたらいた場合

ブレーカーピンが手前に飛び出します。
①コンセントボックスのすべてのコンセントから電源コードを抜いてください。
②フレーカーピンを押し込んでください。

⊘ ご使用の家電製品の定格消費電カワット(W)数の合計が1300ワット(W)を超える場合、その他過電流が流れる場合は、原因を取り除いたうえ、ご使用ください。
➡原因を取り除かずに、リセット操作を繰り返した場合、発煙・過熱・変形の原因となります。

■家具のすえ付け時のご注意

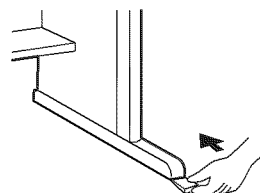
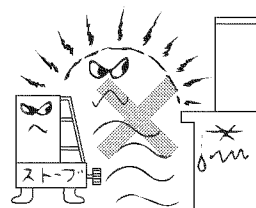
①すえ付け場所

⚠直射日光や熱・冷暖房器の強風等が直接当らないようにしてください。

➡家具がゆがんだり、変色したりする原因になることがあります。

②水平設置

⚠水平を保つように置いてください。水平でない場合、家具の下に詰めものなどをして水平にしてください。

➡ガタツキのまま使っていると、引出しの出し入れがスムーズでなかったり、家具がこわれたり、けがをする原因になることがあります。

5　照明器具の使用方法

使用前に必ず確認してください。

⚠ 警　告

●この照明器具は非防水です。湿気の多い場所や水のかかる場所では使用できません。
　→火災・感電・絶縁不良の原因になります。
●異常な振動や衝撃、腐食性ガスや可燃性ガス、粉じんの影響の受ける場所では使用できません。
　→火災・感電・落下・錆びの原因になります。
●サウナ風呂等の高温場所では使用できません。
　→火災・焼損・やけどの原因になります。
●指定のランプ以外は使用しないでください。
　→焼損・過熱・変色の原因になります。
●照明器具やランプに布や紙等燃えやすいものをかぶせたり、近づけたりして使用しないでください。
　→火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。
●照明器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。
　→感電・落下・焼損・過熱・変色の原因になります。
●ランプ外管が割れた場合は絶対に点灯させないでください。
　→感電の原因になります。
●電源の接続は使用方法に従って確実に行なってください。
　→接続が不完全な場合、故障の原因になります。
●まくら元およびベッドで使用しないでください。
　→倒れた場合、火災の原因になります。
●据置面には十分に注意し、安定した場所でご使用ください。
　→倒れた場合、火災の原因になります。
●器具から煙が出たり、変な臭いがしたときは、速やかに電源を切ってください。
　→放置しますと火災・落下・けがの原因になります。販売店にご相談ください。
●電源コードが損傷した場合（芯線の露出・断線等）、速やかに販売店に修理を依頼してください。
　→そのまま使用しますと、火災・感電の原因になります。
●ランプが点滅を繰り返す等、正常に点灯しない場合は、直ちに電源を切りランプを交換してください。
　→放置しますと、焼損・過熱・故障の原因になります。
●器具のすきまや放熱穴等に金属類を差し込まないでください。
　→感電・故障の原因となります。
●カーテン等可燃物の近くで使用しないでください。
　→火災の原因になります。

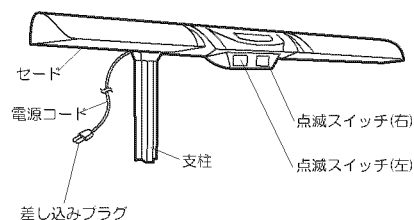
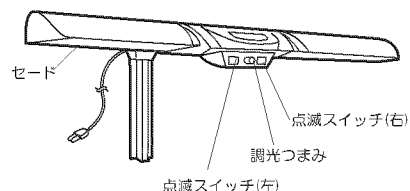
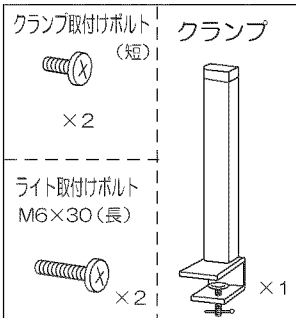
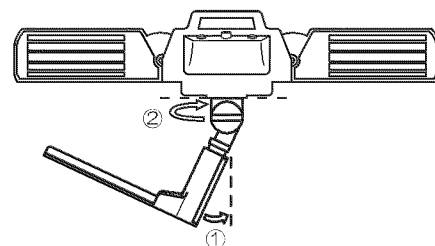
⚠ 注　意

●この照明器具は屋内専用器具です。屋外では使用できません。
　→火災・感電・故障の原因になります。
●寒暖の差の激しい場所では使用しないでください。
　→感電・絶縁不良・ランプ破損・器具内部の結露の原因になります。
●点灯中及び消灯直後は照明器具やランプが高温になっていますので素手で触らないでください。
　→やけどの原因になります。
●この照明器具は周囲温度5℃～35℃、湿度45%～85%の中で使用してください。
　→高温・高湿の場合は焼損・過熱・故障・変形・変色の原因になります。低温の場合、蛍光灯は暗くなったり点灯しないことがあります。
●照明器具の定格電圧と電源電圧を必ず確認してください。
　→間違って器具に過電圧を加えた場合、ランプ短寿命及び火災・過熱の原因になります。
●照明器具に貼り付けている注意シールの指示に従ってください。
　→守っていただかないと火災・感電・落下・けが・故障の原因になります。
●照明器具の近くや電波状況の弱い場所ではラジオ・補聴器・電話器・音響製品等に雑音が入る場合があります。
　→器具とラジオ・補聴器・電話器・音響製品等を150㎝以上離してご使用ください。
●照明器具の近くでリモコン（コントローラ）を操作した場合、誤動作することがあります。
　→器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
●部屋の他の器具と併用し、スタンドのランプが直接目にあたらないようにセードの角度を調節してご使用ください。
　→目の健康にご注意ください。
●ランプと被照射物とは10㎝以上離してください。
　→被照射物の焼損・変形・変色の原因になります。
●電源を入れたまま、ランプの取付け、取外しはしないでください。
　→感電・故障の原因になります。
●電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
　→電源コードが損傷し、感電・故障の原因になります。
●点灯中、ソケットからランプを抜いたり差したりしないでください。
　→保護装置が働き、再点灯しないことがあります。
●ぬれた手で差し込みプラグを抜き差ししないでください。
　→感電の原因になります。
●器具やランプに着色等をしないでください。
　→焼損・過熱・故障・変色の原因になります。
●点灯および消灯直後に音が発生する場合があります。熱による器具構成材料の収縮音です。
　→ひどい場合は販売店にお申し出ください。

5　照明器具の使用方法　（イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。）

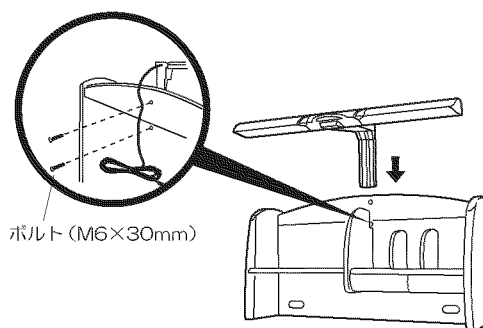
■ライトの取付け・使用方法

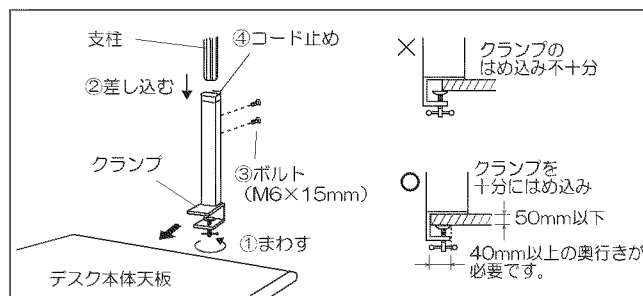
（1）ライト各部の名称および付属部品

<SB-869>　対象品番：ODF-250BS

<SB-764>　対象品番：ODF-295NS ODF-296BS

■ライト付属品

※箱から取り出したのち
①②の順で矢印の方向に可動部を
動かして、正しい位置に調整してください。

（2）　上棚 への取付け方法

①右図を参照してライトの支柱を上棚の中央仕切板の切り込み部分に上からはめ込んでください。

②上棚の背板の裏側からボルト（M6×30mm・2本）を使い、しめ込んで固定してください。
⊘ライトはかなりの重量がありますので上棚への取付時にはあらかじめ重さを体感いただき、上棚にキズが付かないようご注意願います。
※クランプ用取付けボルト、クランプは上棚を外した際、ライトをデスク本体に取付ける時に必要ですので大切に保管してください。

③ライトの差し込みプラグをライト専用コンセントに差し込んでください。
➡ライト専用コンセント以外に差し込んだ場合、ライト専用スイッチと連動しません。

（3）クランプでの取付け方法

①クランプ本体を机にはさみ込んでハンドルを回して、回らなくなるまで締めてください。
②クランプの上にライトの支柱を差し込んでください。
③後からボルト２本（M6×15mm）で固定してください。
⊘転倒の原因となりますので、クランプは弱い場所（薄板、かかり代の少ない所、丸棒等）には付けないでください。
⊘指定のボルトサイズ以外のボルトは使用しないでください。
➡感電・故障の原因となります。
④電源コードをクランプ背面上端のコード止めにはめ込んでください。

⚠設置のご注意
⊘不安定な場所、状態での使用は避け、クランプを使用する場合はクランプを机等に十分にはめんで確実に取付けてください。（クランプの取付けは 板厚50mmまで、取付可能です。）
また、強度の弱い箇所（しなる、曲がる、反る）には取付けないでください。はめ込み及びクランプ止めネジの締め付けが不十分な場合、ガタツキ、倒れ等の原因になります。なお、安全のため取付け後可動させてゆがみがないか、ガタツキがないか再確認してください。傾斜した机等に取付けますと正常な可動ができません。棚にボルトで締め付けて固定させた場合も取付け後に安全の確認をしてください。

5　照明器具の使用方法　（イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。）

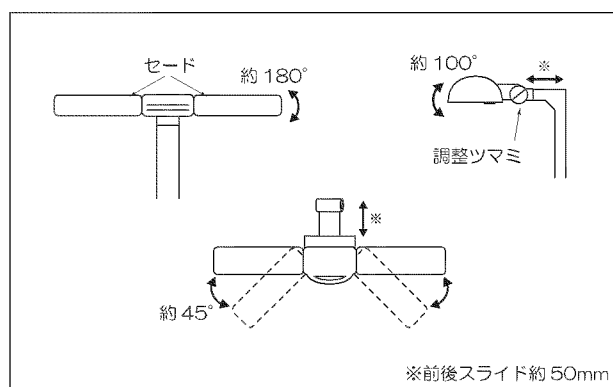
（4）電源コードの接続

⦸ 電源コードの差し込みプラグを交流100ボルト(V)のコンセントにしっかり差し込んでください。
➡ 火災･感電の原因になります。

⦸ コンセントの差し込み口がゆるまない状態でご使用ください。
➡ ゆるんだままご使用になりますと、火災･加熱の原因になります。ゆるんでいる場合は必ず電気店に点検、修理を受けてからご使用ください。

（5）操作方法

●ライトの動作範囲は、下図のようになっています。
●セードをお好みの角度に調節してください。
各部の動きが軽くなったり、セードが下がってきた場合は調整ツマミを右に強く回してください。
●セードは左右両端からそれぞれ約45°手前に可動します。

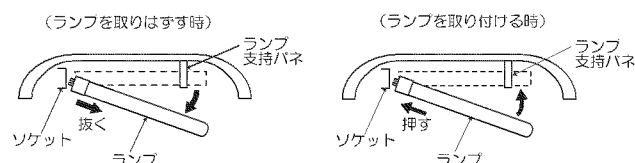
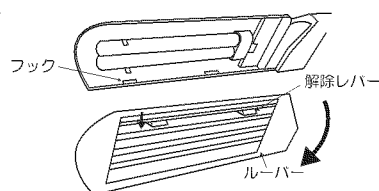
⦸ 各部にストッパーがついていますので無理に回さないでください。
➡ライトの破損や断線を引き起こし、火災･感電の原因になります。

（6）ランプの交換方法

⦸ ランプ交換の際は、必ず電源を切って、しばらくしてから行ってください。
➡ 電源を切らないと感電の原因となることがあります。また、点灯中や消灯直後に、ランプおよびランプ周辺をさわると、やけどの原因になります。

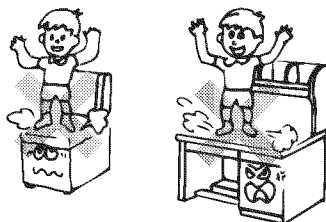
⦸ ランプは適合したランプを使用してください。（下表参照）
➡ 適合しないランプを使用すると、火災の原因になります。

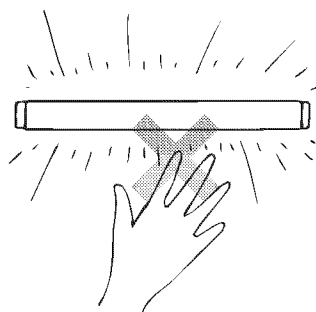
ライトタイプ	定格電圧	周波数	適合ランプ
SB-869ライト SB-764ライト	AC 100V	50Hz / 60Hz 共用	コンパクト形蛍光ランプ P 型 FPL18EX-N×2 本

⦸ランプが寿命になりますと保護回路が働きそのランプは突然消灯しますが、故障ではありません。
ランプを交換　約5分後に電源を入れ直せば正常に点灯します。
➡一旦両方のスイッチを切ってから電源を入れ直してください。
再点灯しない場合、スイッチ ON・OFF 操作を2・3回行ってください。

①ルーバーの解除レバーを外側へ押してください。
②ルーバーを矢印の方向へ引きだしてください。
③ランプをランプ支持バネから外し、ソケットから引き抜いてください。
④ランプを右図の要領でソケットに差し込み、ランプ支持バネにはめ込んでください。
⦸ランプの取付けは丁寧に、確実に行ってください。
➡破損・落下の原因になります。
⑤ルーバーを取り付けてください。フックに差し込んでから解除レバーが引っかかるまで押し上げてください。

6 使用上のご注意

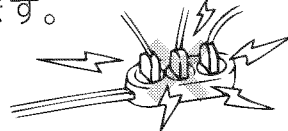
⚠ 警告

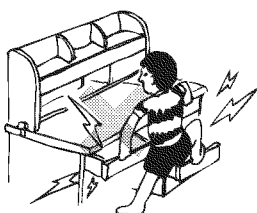
●けが・破損の原因になります。

机やいすの上に立ったり、とんだり、踏み台代りに使ったり、不安定な姿勢で掛けたりしない

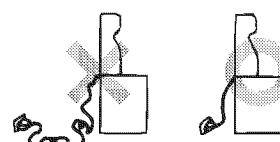
●やけどの原因になります。

点灯中や消灯直後のランプおよびその周辺をさわらない

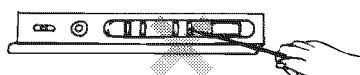
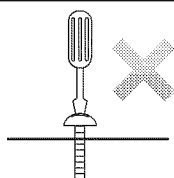
●火災の原因になります。

器具やランプに布・紙等をかぶせたり、近づけたりしない

●火災・過熱の原因になります。

タコ足配線はしない

引出しや引手の上に乗ったり、扉等にぶら下ったり、むりな力で引っ張ったりしない

●火災・感電の原因になります。

水洗いしたり、ぬれた手でさわったりしない

電源コードを、無理に曲げたり、ねじったりしない

固定用ネジ類がゆるんだまま使用しない

コンセントや器具に棒等の異物を差し込まない

差し込みプラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く

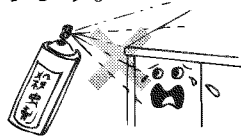
⚠ 注意

●こげ・変色の原因になります。

家具の上に、加熱したなべ・やかん等を直接置かない

●表面が、はがれることがあります。

シールやセロテープ等を貼らない。

●変色・変質の原因になります。

シンナー・ベンジン等でふいたり、殺虫剤をかけたりしない

●天板の上で硬いボールペン等で書くとキズが残ることがあります。マット、下敷をお使いください。

●塗料や接着剤等のにおいが残っている場合、換気を十分にして取り除くようにしてください。

7 点検と修理が必要なとき

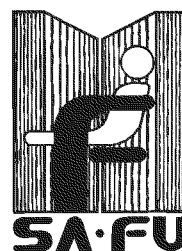
1 より安全にご使用いただくために次のような異常があったときはお買い上げの販売店にご相談ください。

- コンセントや差し込みプラグが異常に熱いとき
- 器具接合部のゆるみやコードの損傷があるとき

2 部品交換の場合は電源コードの差し込みプラグを抜いてから交換をしてください。

- 電流ヒューズの交換　●ランプの交換

⊘器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。
➡火災・感電の原因になります。

3 取扱説明書どおりに使用されてもまだ不明な点があるときはお買い上げの販売店にご相談ください。

8　コイズミ学習机保証書

<table>
<tr><td>品番</td><td colspan="2">（デスク引出し内の白いラベルで品番をご確認ください。）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">お客様</td><td colspan="2">お名前</td></tr>
<tr><td colspan="2">ご住所　〒
電話番号（　　　）　　―</td></tr>
<tr><td colspan="2">お買い上げ日</td><td rowspan="4">販売店名･住所･電話番号</td></tr>
<tr><td colspan="2">年　月　日</td></tr>
<tr><td colspan="2">保証期間（お買い上げ日より）</td></tr>
<tr><td colspan="2">3ヶ年</td></tr>
</table>

＊ご販売店様へ
必ず全項目をご記入のうえお客様にお渡しください。

この保証書は本書に示した期間条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

（お願い）お買い上げ日、販売店名、及び品番のわかる伝票、領収書等がありましたら、ここに貼り付けて、大切に保存してください。

〈無料修理規定〉

1．取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従って**正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には無料修理**をさせていただきます。
　①無料修理をご依頼になる場合には**商品と本書をご持参、ご提示のうえお買い上げの販売店にご依頼ください。**
　②お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には下記のご相談窓口へご連絡ください。
2．保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
　①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
　②お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
　③火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源による故障及び損傷
　④消耗品の消耗、又はそれによる故障
　⑤本書のご提示がない場合
　⑥本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、及び字句を書き替えた場合
3．本書は日本国内においてのみ有効です。
4．本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保存してください。

コイズミファニテック株式会社　〒557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号

9　お客様ご相談窓口

商品のお問い合わせ、アフターサービスは、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。

◆お客様相談室　〒557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号　☎06(6658)7382

コイズミファニテック株式会社　〒557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号

平成22年現在（所在地、電話番号等については変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。）